

第8回事業者活動部会は、平成22年末に実施しました店頭でのマイバッグ利用についてのアンケート調査を基に、事業者活動部会としてどのようにマイバッグの利用を促進していくべきかについて検討を行いました。また、推進協議会で取り組む新たな事項についても意見交換が行われ、紙ごみの減量について話し合っていくこととされました。

今回の検討結果については2月16日に開催される推進協議会で提案していくことが確認されました。

1. マイバッグの利用促進について

マイバッグの利用形態やどのようなマイバッグなら使いやすいかのデータを得るため、お買い物をしている区民に対しアンケートを実施した。

(1) アンケートの実施概要

①実施目的

事業者活動部会でマイバッグの利用促進策を考える上で、効率の良いマイバッグの利用促進策を効果的に実施するため、消費者の意向を把握する調査を行ない、マイバッグの利用実態を把握するとともに、データとして調査結果を見るとともに今後の取り組みを考えていくものとする。

②実施日時・場所

(1日目)

実施日：平成22年11月19日(金) 午後4時～5時頃

実施場所：グルメシティ関東柴又店 入口付近

(※車での利用がしやすい立地として選定)

(2日目)

実施日：平成22年11月26日(金) 午後4時～5時頃

実施場所：イトーヨーカドー亀有駅前店 B1 食品売り場

(※駅に近い立地として選定)

③アンケート数

218枚(各箇所100枚を予定し実施)

④アンケート実施方法

一般に買い物をしているお客様に対してアンケートへの協力を呼びかけた(区の職員及び日大学生で実施)。アンケートに答えていただいた方にはマイバッグ又はBOXティッシュを差し上げた。

⑤レジ袋辞退率

当初、レジ袋の辞退率をレジ周辺でカウントする予定だったが、店舗のレジキーの管理で辞退率がわかるため、各店舗からの報告を辞退率とした。

○グルメシティ関東柴又店 26%

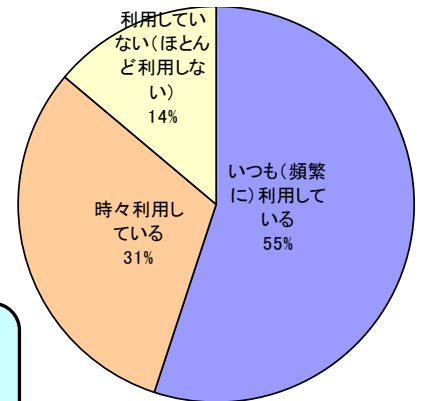
○イトーヨーカドー亀有駅前店 36.3%

(2) アンケート結果 (アンケート総数 218 名)

【問1】 お買い物の際にマイバッグ (エコバッグ) を利用していますか。

- ①いつも (頻繁に) 利用している……55.0%
- ②時々利用している……31.2%
- ③利用していない (ほとんど利用しない)……13.8%

マイバッグの利用の割合



【問2】 問1で「①」又は「②」とお答えいただいた方にお伺いします。マイバッグを利用している理由はどのようなことからですか。(複数回答可)

- ①割引 (ポイント) があるから……48.1%
 - ②余分なレジ袋をもらうとごみになってしまうから……52.9%
 - ③マイバッグの方が利用しやすいから……21.2%
 - ④特に意識していない……7.4%
 - ⑤その他……2.6%
- (意見) 買い物の量が多いときに使う、エコを意識して 等

【問3】 問1で「③」とお答えいただいた方にお伺いします。マイバッグを利用しない理由はどのようなことからですか。(複数回答可)

- ①レジ袋をもらえるから……44.8%
 - ②マイバッグを持ち歩きたくないから……17.2%
 - ③適当なマイバッグを持っていないから……34.5%
 - ④その他……13.8%
- (意見) うっかり持ってこないことがある、忙しいから 等

【問4】 マイバッグを利用しやすいお店はどのような環境ですか。(複数回答可)

- ①マイバッグの利用を促進する掲示がある……34.9%
- ②マイバッグを使うと割引やポイントが貯まるサービスがある……69.3%
- ③レジでレジ袋が必要かどうか声をかけてくれる……33.5%
- ④マイバッグで持ち帰りやすい商品の包装をしている……14.2%
- ⑤その他……1.4%

(意見) ビニールは持ちにくくて嫌いなので、関係なくマイバッグを持っている

【問5】使いやすいと思うマイバッグはどの様なタイプのものでしょうか。

(複数回答可)

- | | | |
|----------------------|----|-------|
| ①お店のカゴにすっぽり入る大き目のタイプ | …… | 20.4% |
| ②肩から提げられる中ぐらいのタイプ | …… | 49.3% |
| ③手で持つ小さめのタイプ | …… | 9.0% |
| ④折りたためていつでも持ち歩けるタイプ | …… | 62.1% |
| ⑤絵柄などのデザインが優れているタイプ | …… | 11.8% |
| ⑥その他 | …… | 3.3% |

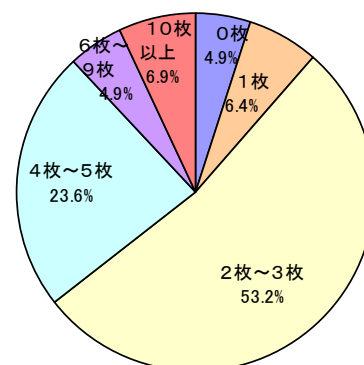
(意見) リュックサック、丈夫、自転車のカゴのサイズに合うもの

【問6】自宅に何枚ぐらいのマイバッグをお持ちですか。

- | | | |
|-------|----|-------|
| 0枚 | …… | 4.9% |
| 1枚 | …… | 6.4% |
| 2枚~3枚 | …… | 53.2% |
| 4枚~5枚 | …… | 23.6% |
| 6枚~9枚 | …… | 4.9% |
| 10枚以上 | …… | 6.9% |

(※20枚が最高枚数2名)

マイバッグを持っている枚数



【問7】レジ袋の削減のためにはどのようなことが必要と思いますか。

(複数回答可)

- | | | |
|---------------------------------|----|-------|
| ①レジ袋削減の呼びかけや広報紙などによる啓発活動の取り組み | …… | 31.1% |
| ②レジでの声掛けや割引サービスなど事業者による積極的な取り組み | …… | 54.1% |
| ③マイバッグを常に持ち歩くなど、消費者の自主的な取り組み | …… | 55.0% |
| ④その他 | …… | 3.3% |

(意見) エコに関心があること、レジ袋の有料化、最初からマイバッグだけにする。

【問8】もし、レジ袋が有料(5円程度)になった場合はどうしますか。

(複数回答可)

- | | | |
|---------------------------|----|-------|
| ①有料であってもレジ袋を買う | …… | 7.6% |
| ②レジ袋をもらわないでマイバッグなどを利用する | …… | 70.5% |
| ③そのときの状況により、買ったり買わなかったりする | …… | 23.3% |
| ④レジ袋が有料でないお店での買い物をする | …… | 6.2% |
| ⑤その他 | …… | 0.5% |

【問9】レジ袋や容器包装についてご意見などありましたらご記入ください。

マイバッグに対して

- ・エコバッグは皆たくさん持っているので、レジ袋配布は取り止める。
- ・マイバッグは簡単に持ち歩き出来るものが良い。
- ・皆がマイバッグを持っていくようにしたらごみが減ると思う。

レジ袋に対して

- ・皆でレジ袋を使いあう社会にすれば役立つ。
- ・大きなレジ袋はごみ収集に役立つので大きなものは集め、小さいものは水物とか入れる時水漏れ防止に役に立つ。
- ・有料にするのは良いことだと思う。
- ・買い物の量によってレジ袋を出す枚数を考えると良いと思う。
- ・レジ袋の紐を長くして肩にかけられるようにすると良い。
- ・食品以外の商品をわざわざ違うレジ袋に入れなくても良いと思う。
- ・大きいレジ袋があれば、後の買い物のときもその中に入れられる。

容器包装に対して

- ・レジ袋は無駄だけど、容器は商品を守るためにも必要。
- ・水分がこぼれ出ない包装の工夫をして欲しい。だからと包装をしすぎずには…
- ・鋭い角の物等容器に工夫をして欲しい。

その他

- ・消費者として自覚を持つことが大切。
- ・マイバッグデーなどには特別に割引金額を上げるなど工夫すればよい。

マイバッグ利用状況アンケート調査のまとめ

実施した日時が両方とも金曜の夕方ということで、比較的マイバッグ持参者の多い時間帯であり、約85%の方がマイバッグを利用している結果となった。ただ、レジ袋の辞退率とは数値が離れており、他の時間帯がマイバッグ利用率が少ない、もしくはマイバッグを持っていてもレジ袋は辞退していないということも多いのではないかと考えられる。

また、レジ袋辞退者の多くは「割引（ポイント）があるから」と「余分なレジ袋をもらうとごみになってしまうから」がともに50%前後の割合で主な理由となっており、かなり大きな動機付けとなっている。一方、マイバッグを使わない人は「レジ袋をもらえるから」「適当なマイバッグを持っていない」という理由が多かった。

マイバッグを利用しやすい環境については、「マイバッグを使うと割引やポイントが貯まるサービスがある」が約70%を占め、ポイントや割引のサービスが一番効果が現れやすい結果となっている。その他でも、「マイバッグの利用を促進する掲示がある」「レ

ジでレジ袋が必要かどうか声をかけてくれる」ということに対しても30%を超える回答があり、このような取組みもマイバッグ利用促進に効果があると考えられる。

使いやすいマイバッグのタイプは、「折りたためていつでも持ち歩けるタイプ」(62.1%)や「肩から提げられる中ぐらいのタイプ」(49.3%)が多く、持ち運びやすさ、使いやすさが求められている。

マイバッグの所持枚数については、0枚~1枚の人は約10%で、多くの方が複数枚のマイバッグを持っている結果となっており、利用促進に力を入れていくことで効果が上がる可能性は高いものと思われる。

レジ袋の削減のために必要なこととして、「レジでの声掛けや割引サービスなど事業者による積極的な取組み」とともに「マイバッグを常に持ち歩くなど、消費者の自主的な取組み」との回答が50%を超えており、事業者・消費者ともに積極的な取組みをしていくことが必要であると感じていることがうかがえる。

レジ袋が有料になった場合の消費者の行動については、「レジ袋をもらわないでマイバッグなどを利用する」が約70%を占めており、「レジ袋が有料でないお店での買い物をする」とその店自体を敬遠してしまう確率は6.2%と低いものとなっており、レジ袋の有料化があった場合にはマイバッグで対応すると考えている傾向が強い。

ごみ減量の意識の高い消費者が買い物をしている時間帯の調査であったが、全体的に消費者はごみ減量に対する意識を持っており、ごみ減量のためにマイバッグの利用に対する理解は高いものと思われる。

事業者側がマイバッグを使いやすい環境を作ることによって、この意識の高さをマイバッグの利用に結びつけることは可能であると考えられる。

2. 推進協議会で進める新たな取組についての検討

平成22年7月までに推進協議会で容器包装削減を中心に話をしていたが、事業者としてもある一定の取組内容がまとめられたことから、今後、推進協議会としてごみ減量に向け新たな取組を行っていく必要があるとし、検討を行った。

様々な意見が出て、一番取り組みやすく、事業者も取り組む余地がある内容であることから、雑紙の資源化について今後検討していくこととした。